

<アンケート調査>

ゴールデン・グローブ賞とアカデミー賞の認知度はほぼ同等！

“受賞作品”と言われると約7割の人がチェックせずにはいられない！

ゴールデン・グローブ賞に関する意識調査

海外ドラマ好き・映画好きの男女1,100名にアンケート

ソニー・ピクチャーズ エンタテインメントがお届けする海外ドラマ専門チャンネルA X N（株式会社A X N ジャパン、本社：東京都港区海岸、代表取締役社長：滝山正夫）は、2017年1月9日（月・祝）に映画とテレビの2大映像エンタテインメントを対象とする、全世界が注目するアワード「**第74回ゴールデン・グローブ賞 授賞式**」を**日本独占生中継**します。

ゴールデン・グローブ賞は1944年にハリウッド外国人記者協会（HFPA）が設立し、今年で第74回目を迎える歴史と伝統のあるアワードです。ハリウッド・スターをはじめとした、映画・ドラマ関係のセレブリティが一同に会しテーブルを囲むパーティー形式で行われることから、“パーティー・オブ・ザ・イヤー”とも称されており、世界160カ国以上で放送されています。毎年1月に、アカデミー賞、エミー賞に先駆けて開催されるため、その年の賞レースを占う意味でも、ゴールデン・グローブ賞への注目度が年々増えています。日本では2010年より、海外ドラマ専門チャンネルA X Nが授賞式を独占放送しています。

今回の授賞式に先駆け、20歳以上の海外ドラマ好き・映画好きの方々1,100名を対象とした「**ゴールデン・グローブ賞に関する意識調査**」を実施、ゴールデン・グローブ賞についてさまざまな質問にお答えいただきました。

★アカデミー賞とゴールデン・グローブ賞の認知度はほぼ同等！

「あなたが知っている海外のアワードは何ですか？（複数回答可）」という質問に対して、やはり「アカデミー賞」の認知度は高く、619名の方がご存知だったようですが、2番目に票を集めたのが「ゴールデン・グローブ賞」の534名でした。これは、アカデミー賞だけでなくゴールデン・グローブ賞にも注目が集まっており、さらに近年では坂本龍一さんなどの日本人がノミネートされることもあって、映画ファン・海外ドラマファン両方から注目されていることがわかります。

★約7割の人が受賞作に関心がある、もしくは気になっている！

「あなたは、“ゴールデン・グローブ賞 受賞作品”という宣伝文句を見聞きすると、その作品を見たいくなりますか？」と質問を投げかけました。すると「少し見たいくなる」が49%、「かなり見たいくなる」が17%と、“見たいくなる”と答えた方が全体の66%という、ゴールデン・グローブ賞受賞作品への関心の高さがうかがえる結果となりました。

★海外ドラマ視聴者は全体の約6割！約1割の人がほぼ毎日視聴している。

海外ドラマの視聴頻度について聞いたところ、全体の63%が「海外ドラマを視聴する」と回答。「週1～3回」と答えた方が15%と定期的に海外ドラマを視聴されている方もいれば、「毎日」が8%、「週4～6回」が4%と、実に12%の人がほぼ毎日海外ドラマを見ているということがわかり、海外ドラマの根強い人気がうかがえる結果となりました。

■「A X N独占生中継！第74回ゴールデン・グローブ賞 授賞式」

自身も大の海外ドラマファンである劇団ひとりさんがメインMCに決定！

さらに、授賞式放送前の1月7日（土）、8日（日）には、劇団ひとりさんがゴールデン・グローブ賞の魅力を紹介する特別番組「This is GG!」も放送します。ハリウッドセレブが集結するアワードをお見逃しなく！

<放送情報>

【同時通訳】2017年1月9日（月・祝）8:55AMスタート

【字幕版】2017年1月14日（土）7:00PMスタート

特別番組「This is GG!」

2017年1月7日（土）、8（日） 昼0:00PMから

※ゴールデン・グローブ賞受賞作品特集内にて放送



<MC：劇団ひとりさん>

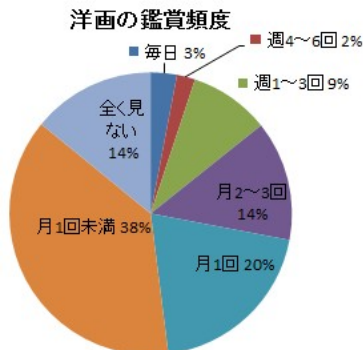
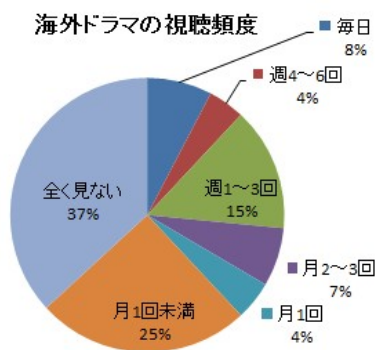
【放送問い合わせ・番組素材等をご希望の方はこちらまで】

株式会社フロンティア・エンタープライズ 担当：福原・鈴木 TEL:03-5565-1121 FAX:03-5565-1261 fukuhara@frontier-e.co.jp

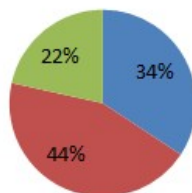
株式会社A X N ジャパン 広報 川戸 TEL:03-5402-1938 yujiro.kawato@spe.sony.com

海外ドラマの視聴頻度について聞いたところ、全体の63%が「海外ドラマを視聴する」と回答。「週1～3回」と答えた方が15%と定期的に海外ドラマを視聴されている方もいれば、「毎日」が8%、「週4～6回」が4%と、実に12%の人がほぼ毎日海外ドラマを見ているということがわかり、海外ドラマの根強い人気うかがえる結果となりました。

続いて、「あなたは海外ドラマと洋画はどちらをよくご覧になりますか？」という質問に対しては、「洋画のほうがよく見る」という回答が全体の44%と最多ですが、「海外ドラマのほうがよく見る」という回答も34%、さらに「どちらも同じくらい」が22%と、海外ドラマも映画と変わらぬ人気を誇っていることがわかります。

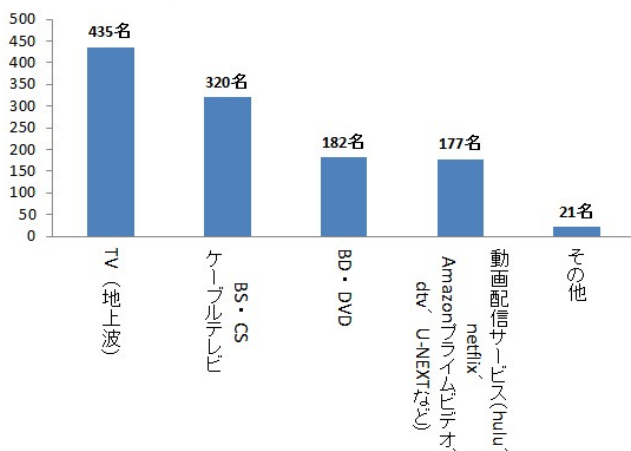


あなたは海外ドラマと洋画はどちらをよくご覧になりますか？



- 海外ドラマのほうがよく見る
- 洋画のほうがよく見る
- どちらも同じくらい

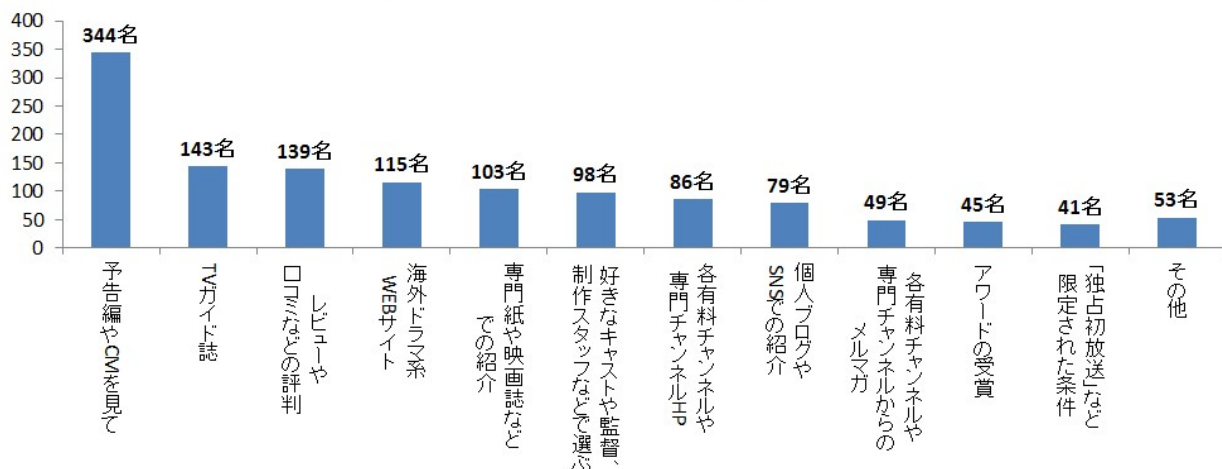
あなたは海外ドラマを、何でご覧になりますか？



昨今、さまざまな媒体を通して見るのがより手軽になった海外ドラマ。「あなたは海外ドラマを、何でご覧になりますか？」(複数回答可)という質問に対しては、「TV (地上波)」と答えた方が435名と一番多く、続いて「BS・CS・ケーブルテレビ」が320名と票を集めました。海外ドラマは、TVなどのチャンネルで視聴するのが主流であるという結果になりました。

また、海外ドラマを見るうえできっかけとなるものを聞いたところ(複数回答可)、「予告編やCMを見て」という回答に344票が集まりました。TVガイド誌や口コミで情報を集めつつ、予告編やCMなど自分の目で見たものを参考に行っている方々が多いようです。

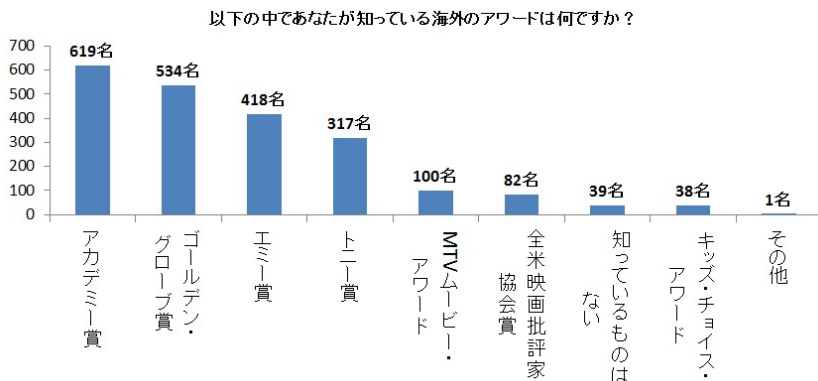
あなたが見たことがない海外ドラマをご覧になるきっかけは何ですか？



【放送問い合わせ・番組素材等をご希望の方はこちらまで】

株式会社フロンティア・エンタープライズ 担当：福原・鈴木 TEL:03-5565-1121 FAX:03-5565-1261 fukuhara@frontier-e.co.jp
株式会社AXNジャパン 広報 川戸 TEL:03-5402-1938 yujiro.kawato@spe.sony.com

次は「以下の中であなたが知っている海外のアワードは何ですか？（複数回答可）」という質問です。やはり「アカデミー賞」の認知度は高く619名の方がご存知だったようですが、2番目に票を集めたのが「ゴールデン・グローブ賞」の534名でした。近年では坂本龍一さんなどの日本人がノミネートされたこともあって、ゴールデン・グローブ賞は映画ファン・海外ドラマファン両方から注目されていることがわかります。



過去、さまざまな名作がその栄光に輝いたゴールデン・グローブ賞作品賞。次の質問では、過去10年間に同賞を受賞した作品の中で知っている作品を聞いたところ（複数回答可）、全29作品中6作品の認知度が圧倒的でした。1位は『デスパレートな妻たち』（300票、2006年コメディ／ミュージカル部門）、2位が『LOST』（298票、2006年ドラマ部門）、3位は『glee/グリー』（227票、2011・2010年コメディ／ミュージカル部門）と、日本でも話題となった作品に多く票が集まりました。近年の作品にも票が集まっており、4位『ダウントン・アビー』（152票、2012年リミテッドシリーズ／テレビムービー部門）、5位『HOMELAND/ホームランド』（127票、2013、2012年ドラマ部門）、6位『MR. ROBOT/ミスター・ロボット』（109票、2016年ドラマ部門）などの作品もかなり認知されているようです。

そして今回のノミネート作品の中では、テレビドラマは『ゲーム・オブ・スローンズ』、映画では『デッドプール』といった長く続くシリーズや話題作に注目している方が多いようです。

2017年1月9日（月・祝）に行われる「第74回ゴールデン・グローブ賞 授賞式」の作品賞ノミネート作品で、あなたが気になる作品はどれですか？（複数回答可）					
テレビドラマ					
ドラマ部門		コメディ／ミュージカル部門		リミテッドシリーズ／テレビムービー部門	
『ゲーム・オブ・スローンズ』	77	『モーツァルト・イン・ザ・ジャングル』	58	『ナイト・オブ・キング 失われた記憶』	52
『ザ・クラウン』	56	『ATLANTA』（原題）	32	『アメリカン・クライム』	44
『ストレンジャー・シングス 未知の世界』	56	『トランスパレント』	30	『アメリカン・クライム・ストーリー／O・J・シン普森事件』	33
『ウエストワールド』	49	『Veep／ヴィーブ』	28	『ナイト・マネジャー』	28
『THIS IS US』（原題）	48	『BLACK-ISH』（原題）	26	『THE DRESSER』（原題）	27
映画				気になるものはない	
ドラマ部門		コメディ／ミュージカル部門		391	
『最後の追跡』	45	『デッドプール』	66		
『ムーンライト』	42	『マダム・フロレンス！ 夢見るふたり』	53		
『LION』（原題）	36	『ラ・ラ・ランド』	29		
『HACKSAW RIDGE』（原題）	24	『シング・ストリート 未来へのうた』	24		
『MANCHESTER BY THE SEA』（原題）	24	『20TH CENTURY WOMEN』（原題）	21		

最後の質問として、「あなたは、「ゴールデン・グローブ賞 受賞作品」という宣伝文句を見聞きすると、その作品を見たくなりませんか？」と質問を投げかけました。すると「少し見たくなる」が49%、「かなり見たくなる」が17%と、“見たくなる”と答えた方が全体の66%という結果になり、約7割の人が受賞作に関心がある、もしくは気になっていることがわかりました。ゴールデン・グローブ賞受賞作品への関心の高さがうかがえます。

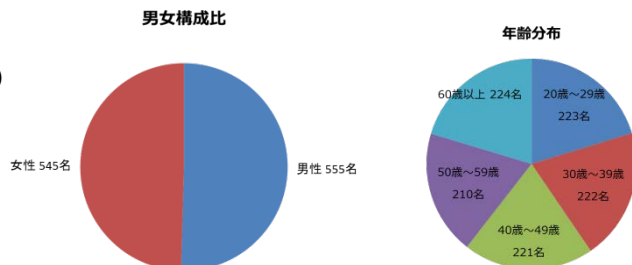
【アンケート調査 実施概要】

期間：2016年12月23日（金・祝）～2016年12月25日（日）

対象：海外ドラマ好き・映画好き 男女1,100名

（男性：555名、女性545名）

方法：WEBアンケート



【放送問い合わせ・番組素材等をご希望の方はこちらまで】

株式会社フロンティア・エンタープライズ 担当：福原・鈴木 TEL:03-5565-1121 FAX:03-5565-1261 fukuhara@frontier-e.co.jp

株式会社AXNジャパン 広報 川戸 TEL:03-5402-1938 yujiro.kawato@spe.sony.com